

# 議会ガイド



幼年防火クラブ演技

## 中泊町消防団定期観閲式

6月29日(日)、中泊町消防団定期観閲式が開催され、分列行進、幼年防火クラブ演技、一斉放水訓練、玉落とし競技等が行われた。中里幼稚園による幼年防火クラブ演技は大人顔負けの動きに会場を沸かせた。

### 第2回定例会 (平成26年6月)

目次	■ 第2回定例会 .....	P 2
	■ 活動報告 .....	P 3
	■ 一般質問 .....	P 4
	■ 議会の動き .....	P 8
	■ 委員会だより .....	P 8

# 地方税法一部改正 軽自動車税引き上げへ

## 第2回 定例会

6月4日～10日

平成二十六年第二回定例会が、六月四日から十日までの日程で開かれまし  
た。  
九日には一般質問が行われ、川山光  
則議員、青山雅晴議員、塚本悦子議員、  
荒関富雄議員の四名が、町側の答弁を  
求めました。  
最終日の十日には、質疑、討論、採  
決が行われ、条例改正や一般会計補正  
予算など議案六件、報告四件を、いず  
れも全会一致で可決、承認しました。

### 補正予算

■一般会計補正予算第二号  
主な補正額(歳出)は次の  
とおり。

□総務費  
コミュニティ助成事業  
二五〇万円

□民生費

地域人づくり事業  
四四四万円

鶴寿荘屋根葺替工事  
四九七万円

臨時福祉給付金  
二二五〇万円

□農林水産業費

すくすくしたまえ館空調  
設備取替工事  
一五四六万円

□土木費

町道二百二十五号線交差  
点改良事業  
九一七万円

□消防費

デジタル移動系防災行政  
無線整備工事  
三七五二万円

■国民健康保険特別会計補  
正予算第二号

■介護保険事業特別会計補  
正予算第一号

■水道事業特別会計補正予  
算第一号

職員人事異動に伴う人件  
費の調整。

### 条例関係

■国民健康保険税条例の一  
部改正

課税額の限度額の引き上  
げと応益分の減額措置に係  
る軽減判定所得算定方法の  
変更について、条例の一部  
を改めるもの。

### 専決処分

■平成二十五年度一般会計  
補正予算第十一号  
地方譲与税及び地方債の  
変更により専決処分したも  
の。

主な補正額(歳出)は次の  
とおり

□総務費  
財政調整基金積立金  
八六八二万円

□衛生費

つがる西北五広域連合負  
担金の確定に伴う減額  
一四八〇万円

□土木費

工事内容変更に伴う減額  
一一〇一万円

■条例の一部改正

地方税法の一部を改正す  
る法律が公布されたことに  
伴い、条文の整備を要する  
ため専決処分したもの。主  
な改正は、外国人に係る  
外国税控除制度新設に伴う  
整備。軽自動車税の標準税  
率の引き上げ及び経年率の  
重課。肉用牛売却による事  
業所得の課税特例延長。耐  
震改修を行った建築物等に  
対する減額措置。優良住宅  
地造成の為に土地等を譲渡  
した場合の長期譲渡所得に  
係る町民税の特例の延長。

■平成二十六年一般会計  
補正予算第一号

老人福祉センター給湯配  
管取替工事に二六五万円及  
びボイラー更新費用として  
備品購入費に五〇万円を計  
上。

## 県下町村議会議員研修会

7月10日(木)、青森市民ホールにおいて、県下町村議会議員研修会が開催され、当町議員団も参加した。

東京大学名誉教授の大森彌氏を講師に招いた講演会では、「道州制について」と題し、地方自治体のあり方、道州制の基本方針についてお話をされました。



■国民健康保険特別会計補

正予算第一号

診療施設勘定において、

前年度決算確定に伴う前年度繰上充用金、二六八万円の減額。

その他

■新町建設計画の変更について

合併市町村への財政支援措置が合併後一〇年間から一五年間へ延長されたことに伴う、合併特例事業等の財政計画の変更。

## 要請活動

6月16日(月)、青森県選出国會議員への要請活動を行いました。要望事項は次のとおりです。

- ①融資主体型経営体育成支援事業(融資主体型補助事業)における配分基準ポイントの見直し、並びに事業採択について
- ②農業でのGPS活用に伴う補助事業の創設について
- ③海岸漂着物の回収・処理費用に係る自治体への財政措置を恒久化することについて
- ④漁業用燃油高騰対策に係る現行制度の見直しと漁業用軽油に係る軽油取引税の課税免除措置を恒久化することについて



津島淳衆議院議員に対し要望書を手渡す沖崎議長

# 一般質問

- ・ 観光振興対策として徐福の里公園を整備しては
- ・ リサイクル率低迷、町の対策は



川山光則議員

**Q** 平成二十八年四月に新幹線今別町駅が開業の予定であり、当町において何らかの取り組みをしないと今と同様、素通りの町になりかねない。観光協会では徐福の里公園を中心に整備してはという話があり、津軽富士展望台、マグロ等の遊漁船の為のバンガロー等、色々なアイデアが出ているが、当局の考えは。

**A**

■小野町長

徐福の里公園整備の経緯は、旧小泊時代に観光の拠点として権現崎の観光資源を積極的に活用するとともに、地域の活性化を目指して権現崎駐車場整備事業を行ったものであります。

しかし、平成十五年九月に発生した台風により

地すべりが起き、現在では日本三大岬の一つと掲げられております権現崎には行けない状況であります。道路の管理者である県及び財産の管理者である林野庁にも要望しておりますが、多額の整備費を要することから、了解を得られないでいるのが現状であります。

私もこの徐福の里公園整備につきましては

**A**

■三上環境整備課長

現在中里地域では六つの団体で、小泊地域では四つの子供会でリサイクル資源の積極的な回収で地域の環境美化やリサイクルの促進に協力していただいている。また処分場においても、鉄くずを分別してリサイクルしている。

これから中長期的な課題として全体の整備を検討していく。

**Q**

先般の新聞報道により、当町のリサイクル率が低迷しているとのこと。私案だが、リサイクルのごみ袋に、入れてもいい物の絵を印刷し、お年寄りに分かりやすくしたら

町の今後の対策として、チラシの配布や広報での周知を徹底、小学校や地域を対象に出前講座等を開催し、リサイクルへの関心を持っていただけるよう、繰り返し啓蒙活動を行う必要があると考える。



徐福の里公園全域

先般の新聞報道により、当町のリサイクル率が低迷しているとのこと。私案だが、リサイクルのごみ袋に、入れてもいい物の絵を印刷し、お年寄りに分かりやすくしたら

町の今後の対策として、チラシの配布や広報での周知を徹底、小学校や地域を対象に出前講座等を開催し、リサイクルへの関心を持っていただけるよう、繰り返し啓蒙活動を行う必要があると考える。



下前地区ストックヤード

# ・ 県道280号、PCB(ポリ塩化ビフェニル)撤去予定は ・ 生活保護の審査基準は



青山雅晴議員

Q

今泉やまなみトンネル手前の県土整備事務所保管庫のPCB保管について、現在日本では、ポリ塩化ビフェニル処理施設個所が少なく処理の順番待ちと聞かされており、一日も早い撤去を望む。撤去予定はいつか。

A

■三上環境整備課長

津軽大橋の補修工事から発生したもので、特別措置法により、当初は平成二十八年七月までとしていた。しかし、施行後、



県土整備事務所保管庫(PCB保管庫)

微量のPCBに汚染された電気機器が大量に存在すること、処理が想定よりも遅れていること等から、処理期間が平成三十九年三月末日までと延長された。  
県の処理期限が延びること、町の補修工事により新たにPCB廃棄物が発生することになったことから、県並びに町で今後地元説明会を開催し、

Q

引き続き現在の場所に一時的保管することにご理解を求めています。

生活保護を受けている方に若い人が目立つ。十市三十町村の生活保護二万三千世帯の保護率が掲載されておりますが、当町では上から四番目の高さにいる。就労の場や食生活、気象やさまざまな関係が絡んでいると考えられるが、当局の考えは。

A

■富士福祉課長

生活保護については、県の事業であり、審査、受給については県で実施している。町では、事前

相談を受けた場合は、聞き取りした内容を記した調査書を福祉事務所に提出し、その後の審査については福祉事務所において各種詳細な調査を行う。実際に支給される保護費は、国の基準に基づく最低生活費から収入を引いた額になり、市町村によつて違いがありますが、中泊町の場合であれば受給者一人の場合の基準額は月額六万円を少し超えるくらいになる。  
生活保護制度は、生活に困窮する方に対しその困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を促すことを目的としている。

## 傍聴席は、あなたの席です！！

中泊町議会 平成26年 第3回定例会は、9月上旬です。会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

平成26年第2回定例会の傍聴者は、2名でした。

皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

・小・中学校の土曜授業について  
 ・生徒児童の送迎バス運行コースについて  
 ・地方教育行政法改正について



塚本悦子議員

Q

文部科学省の昨秋の規則改正により、市町村教育委員の判断で小中学校の土曜授業ができるようになった。  
 県教育委員会によると、さらに市町村が年度内の実施を検討中だとあるが、当局の考えは。

A

■加藤教育長  
 今でも行事や総合学習などを月に二回程土曜授業として行い、また普段の日常において五、六時

Q

生徒児童の送迎バス運行コースはどのような条件で決まっていたのか。また、少子化の折、保護者からのコースの変更や見直しなどの声は無いのか。

A

■加藤教育長  
 現在のところ、地主の問題で乗り場を一部移動したところがある。その他の学校コースの変更については、要望が無いいた

Q

滋賀県の中学生自殺に端を発し、教育委員会が機能していないという指摘を受け、地方教育行政法改正案が五月二十日、衆議院を通過した。当局はこの改正案をどのように考えているか。

A

■加藤教育長  
 現在の教育委員会制度は首長に教育行政の積極的な決定権を持たず、教育委員会の専権事項にして合議で決める合議制ですが、改正案においてもそのままなっている。そして、実務のトップであった教育長が教育

め行っていないが、何か要望があればいつでも受付ける。できるだけ声を反映させていきたい。  
 長の業務と委員会の会務のトップの両方やることとなる。また、首長の下に総合教育会議を設け、教育大綱的な方針をそこで策定し、それに基づいて教育委員会が教育行政を進めて行く流れになる。総じてこの改正は果たしてやってみなければ分からないものであり、今回の改正が私たちにとって教育行政を進めやすい改正になることを期待している。



八幡団地前スクールバス待合所

一般質問はインターネット・ライブ中継がご覧になれます。

パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館のロビーにもテレビ中継されています。ぜひご利用ください。

HPアドレス <http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>



# ・光ファイバー開通、住民サービス向上へ ・農業のGPS活用へ向けて ・『ホタルの里』もっと前面へ



荒関富雄議員

配信し、災害に備えていきたい。また、他市町村では高齢者の見守りや遠隔健康相談、防災や観光で活用例が見られるので、当町においても、多様化する生活環境の中でそのようなサービスを提供していくことが有効か検討している。

### ■三上教育次長

当町にも今月中には全町に光ファイバーが入り、利用できる状況下になる。福祉行政、防災、並びに教育現場等、行政サイドがこの光をどのように利用して住民サービスに生かしていくのか。

Q

A

### ■飯塚総務課長

今回の開通に伴う行政サービスは両漁港に設置している防災カメラシステムを更新。パソコンやスマートフォンへ映像を

一点目は開かれた学校づくりの一環としてストリーミング配信による授業参観。二点目はパソコンやタブレット端末、コンピュータネットワーク等を利用して学習履歴管理、電子教科書、ドリル教材をインターネット上に公開し、自宅で自分のペースに合わせて繰り返し勉強出来るようにする。以上の二点を実施するためには、学校、保護者の理解が必要なことから校長会に検討事項として提起したいと考えている。

Q

農業が衛生からの情報を受信し、作業する時代になり、農機具メーカーもGPS対応の農機具を開発している。また、十三湖土地改良区では圃場整備が計画されており、農業者だけでなく、建設業界の人達も面工事等で非常にGPSの利用価値がある。若者の収納率向上など、農業のイメージを一新させるような画期的なものを考えているか。

A

### ■藤森農政課長

GPSシステムは様々な作業、管理に活用できる可能性があり、効率化を図るためには不可欠になるのではと考えている。十三湖土地改良区で圃場が大きくても良いとの声も聞こえてきていることから、大区画の圃場が現実味を帯びてくるため、今後の検討が必要と考え

Q

当町はホタルの里に大変力を入れていて。ホタルが住んでいるイコール水がきれい、すばらしい環境下にあるのだと、もっとイメージ戦略として利用すべきでは。

A

### ■小野町長

津軽鉄道によるホタル列車の運行や津鉄応援直売会による農産物、手作りの特産品の販売、商工会による出店などの協力もあり、来場者が年々増え、平成二十三年には二日間、千四百人の方々に来場いただいた。今年で第九回目を迎え、ホタルの里に新たに生育に適した水路整備を行い、そこ



第九回ホタルまつりでの『じゃんけん大会』の様子

へ七百匹程の幼虫とカワニナを放流した。持てる財産を最大限に活用するのが観光の原点であり、同地区には蜚沢とホタルの付く地名もある事ながら、ホタルを一つの起爆剤として、短い期間ではあります人が集まる、和めるような行事として今後一層定着させたい。

6 月

29日 中泊町消防団定期観閲式  
 27日 総務企画常任委員協議会  
 20日 県選出国会議員への要請活動及び視察研修  
 19日 県選出国会議員への要請活動及び視察研修  
 18日 県選出国会議員への要請活動及び視察研修  
 17日 県選出国会議員への要請活動及び視察研修  
 16日 県選出国会議員への要請活動及び視察研修  
 13日 もつたいない町民運動推進会議  
 10日 単行案審議・採決・閉会  
 9日 定例会一般質問  
 4日 第二回定例会開会日

5 月

29日 議会運営委員会  
 28日 商工会通常総代会  
 27日 全国町村議会議長研修会  
 25日 五所川原市消防団定期観閲式  
 16日 西北郡町議会議長会定期総会

4 月

24日 農業再生協議会通常総会  
 22日 民生児童委員協議会総会  
 15日 三常任委員会合同視察研修  
 14日 三常任委員会合同視察研修

議会運営委員会

(兵庫桂蔵 委員長) 5月29日(木)

〈案 件〉

- 平成26年第2回中泊町議定会例会会期日程について
- 提出議案について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他



議会運営委員会の様子

三常任委員会合同視察研修

(秋田県横手市)  
 4月14日(月)～15日(火)

〈研修事項〉

- 横手市議会議員で構成されている議員連盟に関する調査  
 横手市議会では議員のみで構成する議員連盟を5つ立ち上げ、各議連1つには必ず市議會議員が携わっている。組織構成や活動状況、事務局の関与、公務性について詳しく説明して頂いた。



三常任委員会合同視察研修